

私たちの暮らしが
安曇野を作り続ける
そして20年先へ

私たちの今の暮らしがつづる
物語。それを磨き続けること
がきっと未来の安曇野につな
がっていきます。安曇野市は
皆さんと一緒にこれからも
ずっと物語を作り続けます。

① 誰もが輝ける 共生社会へ



外国籍市民の活動を広める あづみの国際 DAY！

「世界にやさしい安曇野へ」をスローガンにステージ発表やブース展示などで、
いろいろな国や地域の文化・習慣等を知れるイベント。本年は10月に共生社
会×文化芸術フェスタとして開催。



市では、令和5年3月に「多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」を策定し、年齢や性別、国籍障がいの有無にかかわらず、すべての人がお互いを認め合い、活躍できる安曇野市を目指して取り組みを進めています。

して生活できるよう、合理的配慮の推進やユニバーサルデザイン化にも取り組んでいます。
さらに、女性が家庭と仕事を両立しながら安心して働けるよう、子育て支援の充実や職場環境の整備、リモートワーク支援などを進めています。

外国籍市民に向けては、英語・中国語・ポルトガル語が話せる職員が生活相談に応じる外国籍市民相談窓口を設置しているほか、タブレットを使って20の言語に対応できる「見える通訳」を導入しています。
また、誰もが働きやすく、安心

近くに住らす人の姿に目を向けるときつとその人の輝いているところがみつかるはずです。多様な人が互いに理解し、支え合いながら暮らせるまち。それが安曇野市の目指す未来です。



外国籍市民相談窓口の充実

市役所1階に英語・中国語・ポルトガル語で相談できる窓口を令和5年7月から設置しています。母国とは文化や習慣が違う安曇野で外国籍市民の皆さんが安心して生活できるように、暮らしの困りごとや手続きを相談できます。



インクルーシブ遊具を公園に設置

年齢や能力、障がいの有無などに関わらず、誰もが一緒に楽しめるように設計された遊具を豊科南部総合公園、防災広場、かじかの里公園に設置しています。



リモートワークで多様な働き方を推進

育児や介護と仕事を両立したい人などライフスタイルに合った働き方の支援と企業への業務切り出し支援などを行っています。多様な働き方を推進し自分の得意分野を生かした働き方で持続可能な安曇野市を目指しています。



インタビュー
竹内美夏さん(右)
フルシユラルスさん(左)

外国籍市民相談窓口で手続きや暮らしの相談に応じている竹内さんとラルスさんに話を聞きました。

さまざまな国籍の人と毎日のように接しているうちに、少し工夫すると日本語でも意思の疎通ができるケースに多く出会いました。大きな声でゆっくり話したり、専門的な言葉をやさしい日本語に言い換えたりするだけで、伝わりやすさは格段に上がります。

皆さんの周りにも外国籍市民の皆さんが暮らしているのかを知り、話す機会があれば言葉を交わしてみると新しい発見があるかもしれません。何か特別なことはなくても話ができる人が近くにいと心強いですし、それが地域の居心地の良さにもつながっていくと思います。

地域で誰もが気軽に声を掛け合える環境を築き、それぞれの違いや大切なことを尊重し合える輪が広がっていく未来を皆さんと一緒に作っていかれたらうれしいです。



世界を知ろう「オランダ編」で母国を語るラルスさん